

主催: 日本精神分析インスティテュート福岡支部
運営委員長 : 古賀靖彦

精神分析セミナー2017年度(1年次)へのご挨拶

日本精神分析インスティテュート福岡支部 運営委員長 古賀靖彦

日本精神分析協会 Japan Psychoanalytic Society (JPS)は、国際精神分析協会 International Psychoanalytical Association (IPA)の基準に則った精神分析家になるためのコースと、JPSが独自に認定する精神分析的な精神療法家のコースの、二つの訓練コースを持っています。実際の訓練は、精神分析インスティテュートが遂行し、現在、東京と福岡にそれぞれその支部があります。

福岡支部では1996年以来「精神分析セミナー」を開講して参りました。これは、上述の二つの訓練コースに志願するために受講すべき「基礎セミナー」であるばかりでなく、臨床家の方々が精神分析の基本を学ぶ機会ともなっています。すなわち、一期、3年間、計18回(36日)のセミナーの中で、精神分析の定義、歴史、理論、技法、発達論、病理理解、症例研究などを学ぶことができます。講師には、福岡支部所属の精神分析家のみならず、東京をはじめ全国からの出講していただいておりますので、聴講される方々は現在の日本を代表する精神分析家の講義をお聞きになれることでしょう。なお、3年次終了後の4月には、3年間の全課程を修了された方々のために、「修了者セミナー」を開催しています。

本セミナーは今年度から第8期の1年次に入りますが、「精神分析とは何か」というごく基本的なこととして、精神分析の創始、治療法としての基本と概念、フロイトの精神病理学と症例などを学びます。

最後に、本セミナーは、日本精神分析学会認定研修グループであるとともに、日本臨床心理士資格認定協会承認研修会であることを付記しておきます。

2017年度の開講予定

* 2017年度は6回開講する予定です。各回とも土曜日(15:00~20:00)と日曜日(9:30~12:30)を使つての開催となります。

第1回 『精神分析の基礎』

(コーディネーター: 鈴木智美)

精神分析は、無意識を取り扱う学問であり臨床実践です。その基礎的概念や歴史的発展について学びます。

平成29年4月22日(土)

①精神分析とは何か・精神分析小史

講師: 西園昌久(心理社会的精神医学研究所)

- ◆参考図書: Freud, S. (1916・17, 1933): 懸田克躬・高橋義孝(訳)精神分析入門(正・続)、フロイト著作集1(人文書院、1971)、Symington, N. (1986): 成田善弘・北村婦美・北村隆人(訳)分析の経験、フロイトから対象関係論へ(創元社、2006)、西園昌久; 西園精神療法ゼミナール①精神療法入門、2010②力動的な精神療法、2011③精神療法の現場から-実践 力動的な精神療法、2011(中山書店)

②無意識の発見

講師: 鈴木智美(精神分析キャビネ)

I) 無意識とは II) 日常生活にみる無意識 III) 臨床上での取り扱い

- ◆参考図書: フロイト著作集6『無意識について』(人文書院)、フロイト全集14『無意識』(岩波書店)

平成29年4月23日(日)

③夢と象徴機能

講師:岡田暁宜(南山大学)

- ◆参考図書:フロイト著作集1:精神分析入門(正・続)(人文書院)、Hann Segal: Dream, Phantasy and Art, Routledge, 1990.[新宮一成訳:夢・幻想・芸術—象徴作用の精神分析理論、金剛出版、1994]

④総括

第2回 『治療としての精神分析』

(コーディネーター:鈴木智美)

精神分析を実践するにあたっての基本的な治療構造、治療態度、治療技法、治療関係をご紹介します。

平成29年7月29日(土)

①治療の枠組みと治療者の基本

講師:鈴木智美(精神分析キャビネ)

I)治療者のあり方 II)面接空間の設定 III)治療契約

- ◆参考図書:馬場禮子『精神分析的な心理療法の実践』(岩崎学術出版社)

②耳の傾け方と言語的介入技法

講師:松木邦裕(精神分析オフィス)

I)耳の傾け方 II)精神分析での様々な言語的介入法

- ◆参考図書:松木邦裕『耳の傾け方』(岩崎学術出版社)『私説 対象関係論的心理療法入門』(金剛出版)

平成29年7月30日(日)

③治療者—患者関係

講師:岡野憲一郎(京都大学)

- ◆参考図書:岡野憲一郎『カウンセリングの30の心得』(みすず書房)『治療的柔構造』(岩崎学術出版社)

④総括

第3回 『フロイトの精神病理学の基礎』

(コーディネーター:古賀靖彦)

フロイトの精神病理学については、不安-防衛論、精神-性発達論、自己愛論、対象喪失論などが基礎をなしています。ここでは、それぞれの主題に関して、フロイトの原著を中心に解説します。

平成29年9月16日(土)

①自己愛論の展開

講師:古賀靖彦(油山病院)

- ◆参考図書:フロイト「レオナルド・ダ・ヴィンチの幼年期の思い出」(1910)『フロイト全集 11』(岩波書店)、フロイト「ナルシズムの導入に向けて」(1914)『フロイト全集 13』(岩波書店)

②発達-退行モデル・不安-防衛モデル・性欲論

講師:権成鉉(クリニックソフィア)

- ◆参考図書:ギャバード G:精神力動的な精神医学①理論編(岩崎学術出版社)、フロイト S.:制止、症状、不安(フロイト全集19巻 9-101頁、岩波書店)、フロイト A:自我と防衛(誠信書房)

平成29年9月17日(日)

③対象喪失論

講師 古賀靖彦(油山病院)

- ◆参考図書:フロイト「喪とメランコリー」(1917)『フロイト全集 14』(岩波書店)、フロイト「自我とエス」(1923)『フロイト全集 18』(岩波書店)

④総括

第4回 『精神分析的技法の基本的概念』 (コーディネーター:松木邦裕)

今日も精神分析の実践において重要な精神分析技法の基本的で中核的な概念を紹介します。フロイトを中心に、その後の今日的な見解にも言及します。

平成29年12月16日(土)

①抵抗と転移・逆転移

講師:松木邦裕(精神分析オフィス)

I) 抵抗 II) 転移 III) 逆転移

- ◆参考図書:サンドラー, J.他著 藤山直樹・北山修監訳『患者と分析者』(誠信書房)、松木邦裕 『私説 対象関係論的心理療法入門』(金剛出版)

②行動化/陰性治療反応

講師:古賀靖彦(油山病院)

I) 行動化 II) 陰性治療反応

- ◆参考図書:フロイト「あるヒステリー症例分析の断片」(1905)『フロイト全集 6』(岩波書店)、フロイト「想起すること、回復すること、ワークスルーすること」(1914)『フロイト技法論集』(岩崎学術出版社)、フロイト「自我とエス」(1923)、「マゾヒズムの経済的問題」(1924)『フロイト全集 18』(岩波書店)、サンドラーら『患者と分析者』(誠信書房)

平成29年12月17日(日)

③解釈とワーキングスルー

講師:松木邦裕(精神分析オフィス)

I) 解釈 II) ワーキングスルー (徹底操作)

- ◆参考図書:フロイト 藤山直樹編・監訳 『フロイト技法論集』(岩崎学術出版社)、サンドラー, J.他著 藤山直樹・北山修監訳『患者と分析者』(誠信書房)

④総括

第5回 『フロイトの症例①』 (コーディネーター:古賀靖彦)

精神分析の学習は症例に始まり症例に戻ります。フロイトは症例を通じて、何を発見し、何を語ったのでしょうか。今回は精神分析の創始に関わった「ヒステリー研究」と、5大症例中早期の2症例を取り上げ、フロイト以後の見解についても触れます。

平成30年1月20日(土)

①「ヒステリー研究」より

講師:古賀靖彦(油山病院)

- ◆参考図書:フロイト・ブロイアー「ヒステリー研究」『フロイト全集 2』(岩波書店)

②「ドラ」

講師:皆川英明(広島市精神保健福祉センター)

◆参考図書:フロイト全集第6巻「あるヒステリー症例の断片」

平成30年1月21日(日)

③「少年ハンス」

講師:鈴木智美(精神分析キャビネ)

I)症例 II)エディプス・コンプレックス III)児童分析

◆参考図書:フロイト著作集5『ある5歳児の恐怖症分析』(人文書院)、フロイト全集10『ある5歳男児の恐怖症の分析』(岩波書店)

④総括

第6回 『フロイトの症例②』

(コーディネーター:松木邦裕)

フロイトの臨床を知ることができるとともに、精神分析の展開を裏づけた5大症例の3症例--今日、統合失調症、境界例、強迫症と診断される患者たち--を詳説します。

平成30年3月17日(土)

①「シュレーバー」

講師:松木邦裕(精神分析オフィス)

I)シュレーバーの手記 II)フロイトの解析と精神病の精神分析 III)その後の諸見解

◆参考図書:フロイト「自伝的に記述されたパラノイア(妄想性痴呆)の一症例に関する精神分析的考察」(人文書院、岩波書店)、シュレーバー『ある神経病者の回顧録』(平凡社、中央公論社、筑摩書房)

②「狼男」

講師:前田重治(九州大学名誉教授)

I)環境と病歴 II)誘惑-去勢威嚇-原光景 III)幻想と現実

◆参考図書:フロイト著作集9『技法・症例篇』(人文書院)、『対象関係論の基礎』(松木邦裕訳;新曜社)の中のアイザックス「空想の性質と機能」、西園昌久:北山修他(編)『現代フロイト読本2』P.436-454(みすず書房)、カンザー&グレン『シュレーバーと狼男』馬場謙一他訳(金剛出版)

平成30年3月18日(日)

③「鼠男」

講師:北山修(北山精神分析研究室)

I)症例報告 II)フロイトの治療記録 III)新しい理解

◆参考図書:フロイト全集10『強迫神経症の1例についての見解』(岩波書店)、北山修監訳『フロイト「ねずみ男」精神分析の記録』(人文書院)、北山修『精神分析理論と臨床』(誠信書房)

④総括

⑤講義終了後:講師と自由に語る

講師:松木邦裕(精神分析オフィス)